

改題 土楽たより

どうらく

Kogure 農場 8月号 (NO88)

2017年8月10日 (木) 発行 (毎月10日)

【農暦】まつりには五穀豊穡への感謝や祈りのものが多い!

○暑い、なにしろ暑い。大雨を降らせた台風5号が日本列島をほぼ縦断し北上した。豪雨の惨禍のニュースが続く。日本列島は被災の無いところがない。危険水位を超え避難勧告がいろいろなところ出ている。いつ当事者になるか判らない(8日)。気まぐれの様豪雨の後に表れる澄みきった青空と入道雲に安堵される。子供の頃の夏休みの宿題帳の表紙に描かれた入道雲が思い出される。夏休みといえは絵日記に描かれた風物詩も大分変わってしまった。

○IT社会が進展する中で失われたものが多い。スマホに終日支配される社会では、手書きの灯籠や七夕飾りなどの夏の風物詩的なものは馴染まないのかもしれない、まちづくり活動やショッピングモールのイベントでしか担えなくなって来ている。スローライフをと言ってもIT社会にあってはゴキチなく繋がったものに見えてくる。九州の被災地に洪水被災に昨年あった常総市から返礼の支援のニュースがあった。痛みの共有が絆を生み出しているのだと思う。

○ITが不寛容社会を生み出したかどうかわからないが、小さな痛みの共有の積み重ねで寛容な社会にしていけないものかと思う。“隣組”には戦中の怖いイメージがあり、共謀罪法の国会通過などで、その想いを強くされた人も多いと思うが、本来は助け合いのためのものであった筈である。格差社会の進展する中で貧困者に不寛容な社会になって来ている。“子供食堂”の活動などが唯一の救いに見える。リオでは貧困者のエリアがオリンピックのために排除されたと聞く。本末転倒である。東京オリンピックでも同じことがあったという。次ぎの東京オリンピックが心配になる。既に借金大国の日本である。庶民に付けが回らないことを祈りたい。

○横道が過ぎたが、夏の風物詩(まつり)には五穀豊穡への感謝や祈りのものが多い。農的生活にはこうしたものへ拘りも含まれていたのだと思う。作物への感謝の気持ちを持つことや昔の生活を考える機会にするのも良いのではと思う。

○草をリセットして黒豆、小豆の播種したのであるが草の成長は早い。あっという間に畑を覆いはじめてくる。広くとった畝間をトラクターで耕起し除草した。心配してくれていたIさんが援農に来てくれて株間の草取りをした。前日の酷暑が嘘のようなしのぎ易い天



＜ひまわり＞お花いっぱいので。3日撮影

気で7時から4時間ほどでとり終えた(10日)。疲れたが充実したものがあつた。

【楽農】黒豆・小豆の株間の除草で一巡

<畑A> ; 金時、小豆、黒豆、ネギの除草。ブルーベリーの収穫。草払い機で周辺除草。

<ハウス> ; トマト、キュウリの少量収穫、

<畑B> ; トラクターで畝間など耕起で除草。

里芋、落花生の除草。黒豆、小豆の除草。

【楽市】イベント交流・直売など

○イベントなど ; 山野草の会(21日) 共生つばさの会(3日)

川柳の会(3日)に参加など。

○その他 ; ・ブルーベリーの少量出荷。



<柏まつり>人でいっぱい。30日撮影

【つぶやき=Tweet】核攻撃を受けたら、机の下に！

○今年は栗の虫が多いと聞き、数本ある栗を確認したら虫にやられていた。柿の木に虫を発見し駆除しようと思って翌日に見ると葉が全くなり枯れ木の状態になっていた。虫は他に木がなければどうするのだろうかと考えてしまう。自然界のこの激しさには戸惑う。迷惑なつてはとほぼ根本から切ってしまった。鉢植えのみかんも丸坊主になっていた。多くの野菜は防虫ネット無しでは駄目である。去年のことだが、時期ズレで大丈夫と思っていたらブロッコリーはほぼ全滅であった。別の話だが蚕は自力で桑の木を移動することも出来ないと聞く。人間が世話をしないと生きていけないという。ヒアリの話もあるが、生き物との関わり判らないことが多い。自然は素晴らしが激しいものがある。畏敬の念を持たないといけないと思う。

○“核攻撃を受けたら、どうするか。机の下にもぐりこめ。頭の上に両腕をのせろ。1950年代に米国の学校で行われていた防空訓練である。”“広島への原爆投下から72年。生まれたばかりの核兵器禁止条約には、二度と被爆者を生んではいけないとの願いが込められている。抑止に代わる答えとして大きく育てることはできるはずだ。”と、6日の「原爆の日」の天声人語の最初と最後の文章である。

最初のところは、最近似たようなことを聞いた。何か滑稽なものを感じる。

○唯一の被爆国の日本はこの条約に参加しないという。日本の被爆者がかかわり多くの国が参加して生まれたこの条約である。抑止力に繋がると思うのであるが、。益々キナ臭くなっている今、大事な時である。

後記】何しろ暑い、暑気払いも良い、笠間に。kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】



<菊盛>茨城の酒と聞き。柏まつりの出店で30日撮影

発行者 ; kogure農場・小暮虎雄

住所 ; 笠間市本戸4201-10

携帯電話 ; 090-9333-4135

メール ; torao-k@nifty.com

HP ; <http://ayaharu.my.coocan.jp>